

すわみつえ通信

No. 316 2024年5月27日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに



ぜひ議会の傍聴に
お出下さい



6月4日(火)	本会議(議案、請願の上程・説明)
6月7日(金)	本会議(行政委員に対する質問・議案に対する質疑・討論・採決・委員会付託)
6月11日(火)	文教福祉常任委員会 まちづくり常任委員会
6月12日(水)	政策総務常任委員会 市民環境常任委員会
6月14日(金)・17日(月)・19日(水)・20日(木)	一般質問
6月24日(月)	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決) 閉会

市議会6月定例会始まる

6月市議会 会期日程(予定)

鴻巣市議会6月定例会は、6月4日(火)より6月24日(月)までの21日間の日程で開催されます。

一般質問では、「教育行政」「公共交通行政」に取組みます。

命とくらしを守る地方政治へ市民皆さんの声を全力で届けます。ご意見ご要望をぜひお聞かせください。

5・23 秋山もえ埼玉6区キャラバン宣伝

秋山もえ衆院埼玉6区予定候補は5月23日(木)10時から10時30分まで鴻巣駅東口で、「自民党裏金事件の徹底解明」「日本共産党の経済政策で暮らしに希望を」と訴えました。

バスを待つ方や駅に向かう方、タクシードライバーなど多くの方が耳を傾けてくれました。スクープ連載の赤旗日曜版見本誌を用意したところ27人の方が「自民党はダメだね」と言いながら受け取っていただきました。鴻巣駅に続き北本駅・桶川駅・上尾駅でも日本共産党の街頭演説を行いました。



(左) 秋山もえ衆院埼玉6区予定候補

年金者組合鴻巣支部総会・誕生会開催される

5月25日(土)に年金者組合鴻巣支部の総会と誕生会が元気に楽しく開催されました。活動方針で掲げているように、「楽しみ七分、活動三分」のとおり、手作りのご馳走が並ぶ誕生会は毎回楽しみです。活動はしっかりと「最低保障年金制度の実現」「軍拡・増税による社会保障改悪ストップ」「鴻巣駅東口にエレベーター早期実現」等を掲げています。訪問介護の基本報酬引き下げの撤回廃止を求める総会アピールも全員で確認し、懐かしい「ガンバロー」の歌をうたい閉会となりました。



すわみつえ市議

母の歳超えて今年の
カーネーション

【俳句コーナー】

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

毎週金曜日の鴻巣駅自由通路 スタンディングに秋山もえさんも参加

毎週、鴻巣駅自由通路で「ガザジェノサイド止めよ・裏金事件徹底説明」とスタンディングで声を上げています。能登半島地震救援募金には必ず協力して下さる方がいて励まされます。



「6区市民と野党の懇談会」開催

5月24日(金)午後2時から4時まで鴻巣市市民活動センター会議室で「6区市民と野党の懇談会」が開催され参加しました。

懇談会には、埼玉6区の立憲民主党・日本共産党・社会民主党の代表が出席し、上尾市・桶川市・北本市・鴻巣市から参加した市民と総選挙に向けた野党共闘の課題と各市の課題について懇談しました。



第13回
2024年

6月2日

オール埼玉
総行動

文化行事 埼玉のうたこえ

10:00 開会

*青年、女性のアピール

*政党あいさつ

*集会後パレード

北浦和公園

埼玉県浦和市北浦和駅西口下車すぐ

ゲストスピーカー

日本体育大学教授

清水 雅彦さん

集団的自衛権行使容認一閣議決を撤回を！

9条をこわすな戦争させない！

YouTubeで
ライブ配信

オール埼玉6・2行動の取り組みは、リアルタイムにYouTubeで配信されます

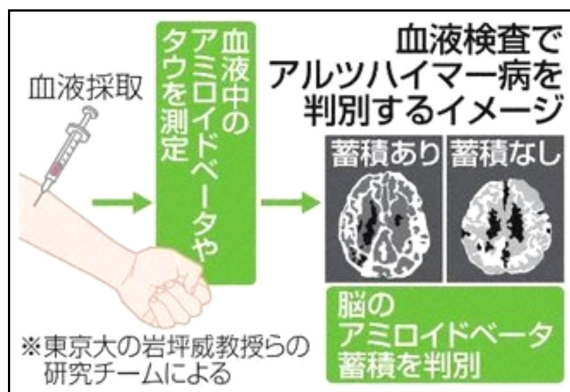
*「ライブ配信」は、オール埼玉総行動 YouTube ホームページ (<https://bit.ly/3j6j26V>) に表示される6・2集会画像をクリック(スマホではタップ)すると、6月2日(日) 朝 9:45 から閲覧できます。

*6月2日(日) 朝 9:45 までは、6・2集会画像をクリック(スマホではタップ)しても画像が表示され続けます。

▶オール埼玉総行動実行委員会「ライブ配信」ページ URL: <https://bit.ly/3j6j26V> QRコード▶

血液検査で認知症判別 無症状、 早期の診断期待 東京大など

アルツハイマー病の原因とされるタンパク質を無症状の人の血液中から測定し、脳内での蓄積状況を判別することに成功したと、東京大の岩坪威教授(神経病理学)らのチームが5月23日、国際専門誌に発表した。従来より効率的に早期段階の認知症診断につながると期待される。日本人を対象にした大規模な実証は初めてという。



アルツハイマー病は、脳内に「アミロイドβ(ベータ)」や「タウ」と呼ばれるタンパク質が蓄積することで神経細胞が壊れて脳が萎縮するとされる。昨年発売された新薬「レカネマブ」は、「アミロイドβ」がたまった人が対象。陽電子放射断層撮影(PET)や脳脊髄液検査で蓄積を確認して治療するが、検査できる医療機関が限られ高額となるほか、体への負担も大きい。

研究では、軽度認知障害(MCI)や、その前段階で無症状(プレクリニカル期)と診断された日本人474人の血液を採取。血液中の「アミロイドβ」や「タウ」を病気の指標となる「バイオマーカー」として測定した。アミロイドβの蓄積状況が実際の画像と高い精度で一致していた。(共同通信 5月23日付)